

令和 5 年 11 月
水 産 庁

大西洋まぐろ類保存国際委員会（^{アイキャット}ICCAT）第 28 回通常会合の結果について

1 ICCAT（大西洋まぐろ類保存国際委員会）

大西洋におけるかつお・まぐろ類の資源管理を目的とする国際機関。
メンバーは日本、米国、英国、EU、アフリカ・中南米諸国等、52 か国・地域。

2 日時・場所

令和 5 年 11 月 13 日（月）から 20 日（月）までニューカイロ（エジプト）で開催（ウェブ併用）。

3 我が国出席者

太田農林水産省顧問（政府代表）ほか、水産庁、外務省等。

4 結果概要

○ メバチマグロの管理措置

- ① 漁獲可能量（^{タ ッ ク}TAC）と国別割当
- ② 集魚装置（^{フ ァ ッ ス}FADs）の規制

等について議論を行ったものの、合意には至らず、2023 年の措置を 2024 年も継続することとなった。

【参考：現行の管理措置】

- ・ 2023 年メバチマグロ TAC 62,000 トン、うち我が国割当量 13,980 トン（2022 年我が国漁獲量 12,132 トン、全てはえ縄で漁獲）
- ・ FADs 操業の禁漁 72 日間
- ・ FADs 使用数の制限 300 個／隻
- ・ なお、大西洋クロマグロの TAC については、昨年、2025 年までの数量を決定済みのため、本年議論は行われていない。